

中間報告書

令和 7 年 9 月 1 日現在

1 事業名

ロス食材をきっかけに備中地域を好きになろう！

2 実施期間 令和 7 年 4 月 21 日～令和 8 年 3 月 31 日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

【目的】

「コノヒトカン」を題材にした教材を通じて、子どもたちが授業を通じて食品ロスや防災について楽しく学び、自ら考え・探究し・行動する力を育むこと。

【概要】

「コノヒトカン」の活動をもとに、児童が主体的に学べる教材づくりを進めています。具体的には、

- 高校生と一緒に作成した食品ロスや防災をテーマにした指導教材
- オリジナルで制作した「コノヒトカンすごろく」

を活用し、小学校の授業に取り入れていきます。これにより、子どもたちは楽しみながら学びを深め、教員は探究授業の負担を軽減できます。また、高校生にとっても実際に授業で使う教材作りや模擬授業を体験することで学びや進路への関心を広げる機会となります。

② 事業の流れ・進捗状況等

＜実施したこと＞

- 4 月採択後すぐに教材作成に取り掛かれるように、元教員に依頼し、教材作り方動画を作成し、各高校に共有。
- 高校ごとにオンラインや来校で伴走
 - 石川県小松大谷高校：毎週火曜日に 1 時間×5 回 Zoom にて
 - 倉敷翠松高校：金曜日に 1 時間×3 回 Zoom にて
 - おかやま山陽高校：4/30 に出前授業（2 時間）+Zoom 数回
 - 岡山高校：来校 2 回+Zoom 3 回
- 小学校決定
 - ・ 神島外小学校 5.6 年生 12 名
 - ・ 早島小学校 6 年生 137 名

- ・清音小学校 4 年生 70 名
- ・粒江小学校 6 年生 74 名
- ・蘆高小学校 6 年生 137 名
- ・県主小学校 4～6 年生 20 名

- 池田先生（元教員）とデザイナーが指導案化・コンプライアンスを確認
- USB に教材・アンケート・成果物フォルダを格納
- 7/10 教材お披露目 ZOOM 会 → 実施校の教員を招待し、高校生たちの感想なども発表。教員から「総合探究以外の時間でも実施できそう」と評価
- 7/11 小学校 6 校へ USB 発送（夏休み前導入に対応）
- 補助教材「すごろく」の作成において、月 1 回以上スタッフで打合せをし、また高校生にも実際に遊んでもらい、改良を重ね完成。20 セット製作
- 夏休み：児童が自由研究として活用した事例あり
- 教材作りに関わった高校生から連絡があり、「すごろく」をこども食堂に持って行ったところ、子どもたちが遊びながらフードロスを学べたと嬉しい報告があった

<今後、実施すること>

- 二学期以降、小学校 6 校で授業を実施
- 成果物・写真・アンケートを USB フォルダで回収
- 吉川大学教授や池田先生に指導案・教材を再チェックしてもらう
- アンケート結果を整理・分析
- 改訂版教材の検討（カードゲーム要素などを追加）

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み 【これまでの成果・効果】

- 教員から「総合探究以外の時間でも実施できそう」との高評価
- 夏休みの自由研究に活用された事例が生まれた
- 高校生側は調査・構成・表現の学びが深まり、教育的効果大
- 教育委員会や複数校にアプローチし、導入先が確定

【今年度事業終了後の成果・効果の見込み】

- 小学校での授業実施 → 成果物（ポスター等）の創出
- 児童の主体的学び・活動への展開
- 教員が即利用できる教材パッケージとしての定着

- 来年度以降の拡大・改訂への土台形成

④ 課題等

- 周知が遅く（4月開始）、学校の年間計画に組み込みづらかった。
- 高校生にとっては学びが深いが、小学生授業用に落とし込む負担が大きかった
- 指導案作成・内容調整の時間が不足
- 教材設計の「高校生主体」か「小学生向け完成形」か、方向性のバランスが課題

4 参考事項・資料

収支精算書見込又は収支（変更）予算書※

（収支（変更）予算書※は補助金交付申請書または補助事業変更承認申請書に添付した収支（変更）予算書のこと）

写真（データでも提出すること）

当日資料

アンケート結果 他

5 次年度以後の事業展開

次年度の事業展開	事業展開の方向性 (以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。)
	<input type="checkbox"/> 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域づくり事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容
	1. 教材の改訂・充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 今年度作成した教材をもとに、先生が即活用できる形へ再編成 ● 指導案・ワークシートを充実させ、1時間で完結する単元として整理 ● 小学生が主体的に取り組める「カードゲーム」の教材を追加開発 2. 普及・導入時期の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ● 4月から正式に事業開始 → 夏休み・二学期以降の授業で活用できるよう準備 ● 教員へは「夏休み前に届く教材」として案内し、自由研究や二学期の活動に組み込みやすくする ● 教育委員会と連携し、二学期以降の活用を前提に導入校を拡大 3. 成果物・実践事例の共有 <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校で実施された授業や児童の成果物（ポスター・自由研究など）を収集・整理 ● 成果を冊子やデータ集としてまとめ、次年度以降の導入希望校に提示 ● 成果事例を広報素材に活用し、地域や支援企業への発信を強化 4. 教員サポート体制の整備

	<ul style="list-style-type: none"> • 大学教授や元高校教員との連携を継続し、教材の教育的効果を検証 • 教員向けの使い方ガイドやオンライン説明会を実施し、授業準備の負担を軽減 <p>5. 高校生の参画方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高校生は「教材の素材提供（クイズやアイデア出し）」に限定し、教材設計や指導案づくりは専門家・事務局で主導 • 高校生の学びの要素は保ちつつ、小学生授業用に落とし込む部分の負担を軽減 <p>6. 材料・教材配布の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB・すごろく教材は「貸出方式」から段階的に「配布型」へ移行を検討 • 十分な数を確保し、学校で同時に複数クラスが利用できる体制を整える
--	--



自分の地域が好きになる！

令和7年度 備中地域みらいづくり支援事業

・対象：小学校高学年（4年生～6年生）



コノヒトカン教材について

この教材は、「フードロス」「貧困問題」「地域の防災」などの社会課題を、子どもたち自身が自分ごととして考え、伝える力を育む探究型の授業キットです。すごろくやワークシートを通して、多角的に物事を捉える力を育てます。



教材データ 内容一覧 9 時間分

USBには左記
のデータが入
っています

教材

- フードロス
- 貧困問題 岡山高校
- コノヒトカンとは？ おかやま山陽高校
- コノヒトカンの目指す未来 おかやま山陽高校
- 地域の防災 小松大谷高校（石川県）
- 備中地域 倉敷翠松高校
- すごろく（詳細別紙）
- 振り返り（アンケート）



指導案

※この教材の内容（指導案・スライド・ワークシート等）の保存・複製・配布はご遠慮ください。授業の実施にあたり、先生ご自身で内容を加筆・修正していただくことは自由です。プランに合わせてご活用ください。

※本教材に含まれる授業スライドは岡山県、石川県の高校が作成に携わりました。



お願い

USBの中には、以下の空フォルダが入っています。

子どもたちの成果物
データはこちら

先生が加筆修正した
データはこちら

授業中の
写真・動画

- 「子どもたちの成果物データはこちら」
- 「先生が加筆修正したデータはこちら」

これらは、子どもたちの成果物や振り返りシート、先生が加筆修正されたデータを保存いただくためのフォルダです。

また、コノヒトカン教材を使った授業風景（手元のみの動画や、個人が特定されない写真など）を募集しています。ご協力いただける場合は、「授業中の写真・動画」フォルダにご提供いただけますと幸いです。よりよい教材づくりのため、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

使い方

授業時間：最低3時間以上

全9時間分のカリキュラムが入っています。使用する順番は自由です！

返却の お願い

※本教材は3学期までご使用いただけます。使用後は下記住所までご返却をお願いいたします。

【返却先】〒710-0834 岡山県倉敷市笹沖250 一般社団法人コノヒトカン 宛



一般社団法人 コノヒトカン は持続可能な開発目標に取り組んでいます

お問合せ先 一般社団法人 コノヒトカン

TEL.090-3137-9896

メール：mirai@konohitokan.com

スライドNo.

ここにスライド写真
を入れよう！



授業のヒント

例) クイズ：日本でどのくらい食べられる食品が廃棄されてると思う？

1 2 3

例) ワーク：食品ロスをへらすために、自分ができることを考えよう！

クイズやワークを考えよう！



進め方

この授業で伝えたい
ことを入れよう！

食べ物が無駄になることを防ぐためには、個人やコミュニティの努力が不可欠です。例えば、計画的な買い物や、残り物を活用したレシピを試してみるなど。また、地域のフードバンクや寄付プログラムに参加することで、食べ物を必要とする人々に届けることも可能です。一人一人の小さな行動が積み重なることで、持続可能な社会を築く一歩になります。



POINT

子どもたちから引き出したい答えを考えよう！

- ・残さず食べる
- ・食べる分だけ買う、作る
- ・残ったら捨てないで他に活用できないか考える

一人ひとりが考えて出した答えはどれも正解！どんな答えも否定することなく認めてください



スライドNo.

ここにスライド写真
を入れよう！



授業のヒント

.....

クイズやワークを考えよう！



進め方

.....

この授業で伝えたい
ことを入れよう！



POINT

.....

子どもたちから引き出したい答えを考えよう！



フードロスをなくそう!

食べ物の大切さを考える自由研究

高田 磨宏

● ぼくがフードロスに関心を持った理由

ぼくは、食べ物の好ききらいが多く、ごはんを残してしまうことがよくあります。そのたびに両親から「もったいないよ」など注意されていました。そんな時、知り合いの人がフードロスを減らすため、食べられるのに捨てられてしまう食材を困っている人に届ける活動をしているのを見ました。その姿を見て、「自分が残している食べ物も、たれかのお腹をいっぱいにしてきたかもしれない」と考えるようになりました。そこで、食べ物大切さについてもっと深く知りたくなったので、このテーマを自由研究に選びました。



・フードロス

= まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のこと

- ・お店の売れ残り
- ・レストランや家での食べ残し
- ・賞味期限が切れてしまったもの
- ・野菜の皮や肉の脂身など、料理の時に
使い切れなかった部分
- ・不ぞろいな魚や野菜



・「子どもの貧困」と「子ども食堂」

たくさんの食べ物が捨てられる一方で、日本には

「子どもの貧困」という問題もあります。

家の事情で毎日お腹いっぱいごはんを食べられなかったり、
一人でごはんを食べている子どもたちが7人に1人いるとも
言われています。

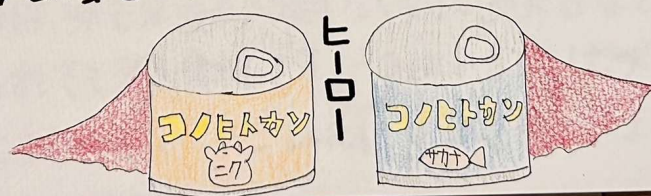
子ども食堂

そんな子どもたちのために「子ども食堂」という場所があります。
子どもが一人でも安心して行けて、無料か安い値段で温かい
ごはんを食べさせてくれる、とても大切な場所です。

- 「もったいない」を「ありがとう」に変える缶づめ

「フードロス」と「子どもの貧困」の2つの問題をいっしょに解決するために、岡山県で「コノヒトカン」という特別な缶づめが生まれました。

捨てられるはずだった「もったいない」食材が、おいしい缶づめになり、その缶づめが「子ども食堂」に届けられ、子どもたちの「ありがとう」という笑顔に変わるのです。



- おいしく変身した「ロス食材」

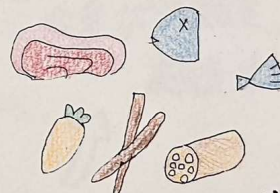
「コノヒトカン」の一番のひみつは、普通なら捨てられてしまう「ロス食材」を使って作られていることです。

＜ロス食材の例＞

- 肉の脂が多くて加工しにくい部分
- 魚の頭やしっぽに近い部分

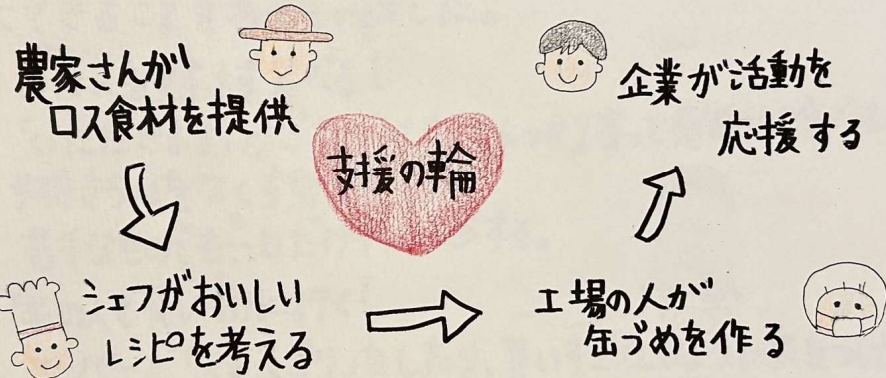
- 形がふぞろいな野菜（にんじん、さほう、れんこんなど）

これらは、味も栄養も問題ないのに、見た目などの理由で捨てられてしまう食材です。「コノヒトカン」はプロのシェフの力でこれをおいしいごはんに変身させています。



• たくさんの人の「支援の輪」

「コヒトカン」はたくさんの人の協力と集まっています。



たくさんの人のあたたかい気持ちがつまっているから
「世界一あたたかい缶づめ」とよばれています。

• フードロスが減らすために、今日からできること

「ユノヒトカン」のような大きな活動はできなくても、ほぐたかにできることを考えてみました。

• ごはんを残さず食べる！

「いただきます」と「ごちそうさま」をしっかり言って感謝して食べる。

• 好ききらいをなくす努力をする！

苦手なものでモーロだけチャレンジする。

• 家の人と買い物に行く！

スーパーで「てまえどり」をしたり、買いすぎないように気をつける。



・感想

ぼくは、この研究をおまで、食べ物を残すことを深く考えていませんでした。でも、フードロスのこと、「コノヒトカン」の活動を調べて捨てられている食べ物の多さや、その食べ物で助かる人がいることを知って、とてもおどろきました。

一人が残すよりは人が少しでも、みんなが残すとすこい量になります。逆に、一人が残さず食べるようにすれば、それがフードロスを減らし、だれかを助けることにもつながることが分かりました。

これからは、作ってくれた人や食べ物そのものの命に感謝して大切に食べたいです。またフードロスの問題をみんなに伝えていきたいです。

2026年度 教材作成 高校生募集

令和7年度 偏中地域みらいづくり支援事業



**子どもたちがわくわくする授業を
作ってくれる高校生を募集しています！**

【対象】
高校生

【内容】
小学生対象の教材を作成していただきます。
2025年度は4校の高校生が「フードロス」「貧困問題」「コノヒトカン」「地域の防災」「偏中地域」などについて作成しました。
テーマの希望がございましたら、申し込みの際にお知らせください。

【応募期間】
2025年3月末まで

【申し込み方法】
学校を通じて申し込みください。
※学校名、担当教員名、生徒氏名を記載し
mirai@konohitokan.com
までお申し込みください。
※恐れ入りますが、申し込みメール返信。
090-3137-9896（三好）までご連絡をお願いします。

【主催メッセージ】
教材づくりは「伝えたいこと」を、どうすればわかりやすく伝えられるか」を考える良い機会です。ぜひ、高校生のアイデアで、小学生に向けた楽しい授業を作ってください。お申し込みお待ちしております！

教えるって
楽しい！

お問合せ先 一般社団法人コノヒトカン
TEL.090-3137-9896
メール: mirai@konohitokan.com

一般社団法人コノヒトカンは持続可能な開発目標に取り組んでいます

期待される効果

コノヒトカン教材がもたらす多面的な影響

- 小学生：地域への関心と探究心の向上
- 高校生：教材作成を通じた学びと成長
- 教員：新しい教育アプローチの習得
- 地域社会：フードロス問題への意識向上
- 学校関係者：異なる年齢層の交流促進
- 長期的効果：持続可能な地域づくりの基盤形成

コノヒトカン教材の特徴！ 高校生が教材作成

岡山南高等学校 倉敷東高等学校 おかやま山陽高校
石川原小学校文芸部にて、教材作成中！

**コノヒトカンは、
参加者全員の成長と学びの場を創出し、
子どもたちに未来を切り拓く力を育成、
持続可能な地域社会の実現に貢献します！**



**コノヒトカンから始まる物語は、
フードロス削減を超えて、地域と教育を結ぶ
革新的なプロジェクトへと進化します。**

お問合せ先 一般社団法人コノヒトカン





自分の地域が好きになる！

コノヒトカン教材

・テーマ：「フードロス」「貧困問題」「地域の防災」「偏中地域」など ・対象：小学校高学年（4年生～6年生）



学習がスイスイ進む！
パワーが教材

学習支援資料
(紙・データ)
・先生用資料
・生徒用資料



ひらめきを促す！
ワークシート

開いて立て
考える力がつく！



社会課題を楽しく学ぶ！
すごろくセット

全部で
9時間分



教材導入のメリット



アクティブラーニング
を取り入れた学習方法



ICT教育に繋がる

スマホやタブレット、動画などを活用しながら学習できる教材になっています！



授業内容

- 1 時間目 「フードロス」
- 2 時間目 「貧困問題」
- 3・4 時間目 「コノヒトカン」
- 5 時間目 「地域の防災」
- 6 時間目 「偏中地域」
- 7・8 時間目 「すごろく」
- 9 時間目 「振り返り」

お問い合わせ先 一般社団法人 コノヒトカン

TEL.090-3137-9896

メール: mirai@konohitokan.com

一般社団法人 コノヒトカン は持続可能な開発目標に取り組んでいます

授業の 組み 立て方

時間配分例



小学校の授業は45分じゃ。
活動は「導入・展開・まとめ」の
3部構成で考えるとよいぞ！

0分

8分

40分

45分

導
入

展
開

ま
と
め

①導入（＝子どもたちに興味を持ってもらう時間）
授業のテーマを紹介！クイズなどで盛り上げるのもよし！
必ず**授業のめあて**と**その評価基準**も紹介しよう！

②展開（＝子どもたちがどんどん活動する時間）
例：調べ学習・成果物作成・話し合い・発表など
※先生が話す時間よりも子どもたちが自分で調べたり、
考えたりする時間を多く設定しよう！

③まとめ（＝授業内容を振り返る時間）
評価基準をもとに、めあてを達成できたか振り返る。
A/B/Cの3段階評価くらいが取り組みやすい！

授業 作成の 注意 事項



1

2

写真や絵、企業団体名を載せるときは、著作権等に気をつけよう！
フリー素材を使用する。著作権・肖像権を有する企業や
団体に許可を取り、スライド内に企業名などを明記しよう！

授業内で紹介する情報の根拠をしっかりと確認しよう！
国や地方公共団体などの公的機関と呼ばれることが出ず、
信頼できる情報を選択して活用しよう！

この例のように、めあては子どもたちが
授業内で達成できるレベルのものがよいぞ。
また、めあてと一緒に評価基準を載せるより
活動内容を理解しやすいというメリットもある！



そのほかに、
普段の先生方が
どんなことに気を付けて
授業を作っているかを
意識して参考にすると
面白いかも！

お問い合わせ先 一般社団法人 コノヒトカン

TEL.090-3137-9896

メール: mirai@konohitokan.com

一般社団法人 コノヒトカン